



防災集団移転などについて個別に説明します



尾形英明議員

まちづくり

早期合意形成の具体策は

住民説明会などで事業内容を周知

**質問** 早期復興を実現させるために必要なことは、土地利用計画に理解を求め、早期合意形成を図ることだと思いが、そのための具体的な解決手段は。

**佐藤町長** 各地区の土地利用計画の具体策を示した事業計画を早急にまとめ、年内には、住民説明会の開催、個別意向調査を進める。

また、広報やまだや復興まちづくりかわら版、ホームページなどを活用し、きめ細やかな情報提供に努める。

**質問** 豊間根地区の公営住宅の用地はどこで、どのような建物か。

**佐藤町長** 豊間根第3地割内の山田町健康増進センター1南側向かいに建設する。構造は、耐火構造3階建てで、2棟、72戸建設する。

**質問** 三陸沿岸道路推進室は、どのような仕事を行う

ているのか。また、一般県道宮古山田線の新たな整備の決定は本当なのか。

**佐藤町長** 推進室は、基本的に、三陸沿岸道路の事業説明会などの会場手配や地権者に関わる情報提供、地権者と三陸国道事務所との交渉のつなぎ役等を行っている。今後は用地契約事務も行う。

県道の整備は、現在、県が三陸沿岸道路との整合性を図りながら、整備計画を策定中とのことである。

**質問** 水道事業について、震災により悪化した経営を早期に立て直すために料金を値上げするのか。

**佐藤町長** 水道事業の給水収益は、震災前はおよそ2億6000万円前後だったが、震災後の平成23年度決算では1億4000万円となり、1億2000万円もの大幅な減収となった。

減収の主な要因は震災によるものであるが、公営企

業である水道会計は独立採算制を経営の基本原則としており、経営基盤の安定化を図ることからも、現在、料金改定のための検討を行っている。

**質問** 副町長2人制の導入について、現在の技監の扱いは。

**佐藤町長** 技監の処遇と立ち位置は現状のとおりで何ら変わることはない。

これまでどおり復興推進のため技監として専門的に尽力していただく。

こたば

【技監】

技術的な事項を統括する役職。町では技監設置条例を策定し、平成23年7月から国土交通省の派遣職員を任命している。